

平成29年度滋賀県がん診療連携協議会・第3回診療支援部会 議事概要

日 時 平成30年2月13日（火）18時00分～18時45分

場 所 滋賀医科大学 リップルテラス2階 会議室1

出席者 谷眞至（滋賀医科大学医学部附属病院）
來住優輝（彦根市立病院）
青木悦雄（市立大津市民病院）
山本寛（草津総合病院）
重松忠（済生会滋賀県病院）
石川博己（近江八幡市立総合医療センター）
駒井康伸（長浜赤十字病院）
重永博（滋賀県医師会）
松井泰成（滋賀県歯科医師会）
小杉奈緒（滋賀県薬剤師会）
吉村雅寛（滋賀県放射線技師会）
寺田智祐（代理：大辻）（滋賀県病院薬剤師会）
山本伸子（滋賀県歯科衛生士会）
野坂明子（滋賀県健康医療福祉部）
嶋田宏之（滋賀県立総合病院）

欠席者 土井隆一郎（大津赤十字病院）
川上賢三（滋賀県立総合病院）
南部卓三（公立甲賀病院）
林嘉彦（市立長浜病院）
小泉聡（高島市民病院）
目片英治（東近江総合医療センター）
三上房枝（滋賀県看護協会）
山内智香子（滋賀県放射線治療連絡協議会）
醍醐弥太郎（滋賀医科大学医学部附属病院）

オブザーバー 菊井津多子、奥井さよ子、柳田英代（滋賀県がん患者団体連絡協議会）

（敬称略）

1. 報告

議事に先立ち、部会長から、前回の部会（平成 29 年 10 月 17 日開催）の議事概要について、ご意見等があれば事務局までご連絡いただきたいとの依頼があった。

2. 議題

(1) 平成 29 年度の取組について

1) 「がん診療連携拠点病院等のがん診療に関する機能分担の評価の検討」、「がん医療の質の向上に向けたアウトカム評価の検討」について（資料 1-1～3）

前回の部会で「がん情報しが」に掲載することとなった「がんに関するトピックス」について、「新着情報順」（資料 1-1）と「医療圏別、病院別」（資料 1-2）を掲載したことの報告があり、掲載場所（資料 1-3）の説明があった。

平成 29 年度で 5 年間の計画が終了し、平成 30 年度からの計画内容は未定ではあるが、「がんに関するトピックス」の掲載内容、見せ方等についてご意見があればご連絡いただきたいとの依頼があった。

2) 高度ながん医療について（資料 2）

部会長より、「高度ながん医療」の解釈について、医療機関によって温度差があり、保険収載しているものは省いてはどうかとの意見も出されている。そのため、平成 28 年度に追加した項目（オレンジ色）について、「高度ながん医療」とみなすかどうかを今回検討した結果、下記のとおりとなった。

- ・ 区分 12 「気管狭窄、閉塞病変に対する硬性鏡下狭窄・閉塞解除及びステント留置術…
削除
- ・ 区分 14 「放射免疫療法（ゼヴァリン®）」…ここでしかできないため残す
- ・ 区分 15 「IVR（インターベンショナルラジオロジー）RFA（ラジオ波凝固療法）
…一般的治療であるため削除
- ・ 区分 16 「IVR（インターベンショナルラジオロジー）経皮的凍結療法」…残す
- ・ 区分 17 「IVR（インターベンショナルラジオロジー）カテーテル動脈塞栓術」
…一般的治療であるため削除
- ・ 区分 18 「IVR（インターベンショナルラジオロジー）TAI（動注化学療法）」
…一般的治療であるため削除
- ・ 区分 19 「TACE（肝動脈化学塞栓術）」…一般的治療であるため削除
- ・ 区分 20 「アブレーション治療 凍結療法（クライオ療法）」…残す
- ・ 区分 21 「ナビゲーションモニタリングシステム」…手技としては新しく、残す

部会長より、今後追加の項目があれば、事務局に連絡いただくよう依頼があった。

3) 各団体の取組について（資料 3）

各団体の平成 29 年度の取組結果と平成 30 年度の取組予定の報告があった。

（滋賀県医師会）

29 年度

- ・他団体から依頼された研修会等を積極的に後援した。
- ・「がん関連」の研修会等の内容を滋賀県医師会報にスポット掲載し、会員に周知した。
- ・「5大がん地域連携パス」を有効利用し、病診連携をスムーズに行えるよう会員に周知した。

30年度

- ・29年度の取り組みを引き続き行う。

(滋賀県歯科医師会)

29年度

- ・口腔がんは、悪化すると患者さんのQOLが著しく低下する。そのため、早期発見を目指し「口腔がんチェック推進歯科医院」を募って口腔内チェックを行い、疑問があれば病院に送る体制を構築する準備を進め、1月時点で62医院の登録があり、現在もさらに増えている。2月には研修の場としてシンポジウムを開催した。
- ・県委託事業「歯科医師等派遣委託事業」は、4病院で実施しており引き続き行っていく。
- ・がん患者（手術前／薬物・放射線治療／終末期）の口腔ケアにかかる医科歯科連携を推進した。

30年度

- ・「口腔がんチェック」を平成30年3月以降実施していく。
- ・がん患者の口腔ケアにかかる医科歯科連携についても引き続き行う。

県委託事業「歯科医師等派遣委託事業」において、マンパワーや負担の大きさについて質問があり、地域の歯科医師会の中で協力して行っているとの回答があった。

(滋賀県薬剤師会)

29年度

- ・滋賀県薬剤師会認定「在宅ホスピス薬剤師」認定研修会およびフォローアップ研修会を実施した
- ・「医療用品共有システム」および在宅医療推進のための「薬局機能情報サイト」の継続運用利用のための説明会を開催した。
- ・滋賀医科大学医学部附属病院や県立総合病院で開催されたがん関連の研修会に参加した。

30年度

- ・29年度の取り組みを引き続き行う。

(滋賀県放射線技師会)

29年度

- ・前立腺がんをテーマにした研修会、および市民公開講座を開催した。

30 年度

- ・「乳がん」をテーマとした研修会を滋賀県臨床検査技師会と合同開催し、同時に市民公開講座も開催予定である。
- ・放射線治療研修会が発足したので、活動を開始し、治療の成果をあげるための研修会を年 2 回程度開催する予定である。

(滋賀県病院薬剤師会)

29 年度

- ・滋賀県がん薬物療法カンファレンスを年 4 回開催した。7 月は、1 つの事例に対し、薬剤師と看護師が合同で検討を行い、薬事日報に掲載された。また、参加者から高い満足度が得られた。
第 16 回のカンファレンスにおいても、満足度の高い症例検討会となった。
第 17 回では、専門医による講演を行い、薬剤師がどのように関与していくかについて議論した。
- ・地域のがん薬物療法を支える薬剤師養成コースでは、第 15 回には 162 名、第 16 回には 81 名と多くの参加があった。また、第 17 回には、女優・タレントの原千晶先生を迎えて特別講演を行う予定である。
- ・ハイリスクがん患者のがん薬物セミナーを昨年 12 月に行った。
- ・先日行われた大津市主催の「がん特別講演会 大津市がんについて考える日」に、滋賀県病院薬剤師会として参加した。

30 年度

- ・29 年度の取り組みを引き続き行う。

(滋賀県歯科衛生士会)

29 年度

- ・滋賀県歯科衛生士会生涯研修会で「がん医療」をテーマに開催した。
- ・県、市町、各病院、団体主催のがん診療関連の研修会に参加した。

30 年度

- ・引き続き研修会を開催する。
- ・病院に勤務する歯科衛生士の技術、知識の向上のためのスキルアップ研修会を開催し、できるケアを構築していく。

4) HP の拡充、メーリングリストの利用によるネットワークの構築、HP 「がん情報しが」のアクセス状況について (資料 4)

本部会では、県のホームページ「がん情報しが」のアクセス件数を評価の項目としている。部会長より、前年度と比べて、予防と検診、セミナーのコンテンツについては高いが、他のコンテンツについては低調であり、時期によっても偏りがあるとの説明があった。今後、多くの方に見ていただけるホームページを作っていく必要がある。

また、「がん情報しが」にリンクするためのバナーボタンを、市民公開講座の案内等に活用していただくよう依頼があった。加えて、診療支援部会メーリングリストについても活用の要請があった。

(2) 部会の取り組み評価（最終評価）について

部会長より、年間計画が今年度で終了するため、今回は平成 29 年度の総括のみ行い、平成 30 年度の計画については次年度の第 1 回の部会で審議することの説明があった。

1) アクションプランについて（資料 5）

今年度の各事項についての進捗状況を確認した。

- ・先進的（高度）ながん医療については、「先進的」が誤解を招く恐れがあるため、タイトルを「高度ながん医療」と変更し内容を更新している。
- ・がん診療連携拠点病院等のがん診療に関する機能分担の評価の検討については、議論の途中ではあるが、意見交換を行うことができた。
- ・がん医療の質の向上に向けたアウトカム評価の検討については、がん情報しがに「がん情報に関するトピックス」を掲載した。
- ・診療支援推進の仕組みの検討等については、遠隔病理診断、妊孕性の取組について情報共有し、11 月に開催された「妊孕性温存情報共有に係る検討会」に参加した。
- ・各団体の取組を把握していくことについては、情報共有を行った。
- ・HP の拡充、メーリングリストの利用によるネットワークの構築については、「がん情報しが」に「がん情報に関するトピックス」を掲載した。

以上より、微力ながらも計画に沿って取り組んだと考え、最終評価は（A）とした。

2) PDCA サイクルについて（資料 6）

Plan として、「がん情報サイトの閲覧回数」、Do として「サイトの充実」としており、「がん情報しが」に掲載している「高度ながん医療」を更新し、「がん情報に関するトピックス」を掲載するなど、掲載内容の更新、改良を行った。

(3) その他

1) 滋賀県からの情報提供（席上配付）

滋賀県から、「滋賀県がん対策推進計画（第 3 期）（原案）」の概要について説明があった。

原案と本文について、意見照会の結果多くのご意見をいただき、ほぼご意見に沿った内容で修正した。

診療支援部会の計画は、がん情報サイトの充実であるが、各医療機関や団体のホームページが充実されてきていることもあり、閲覧回数が減っている。そのため、イベントについて、全て集約している「がん情報しが」を閲覧していただけるよう広報を見直す必要がある。

第 3 期は、「がんの予防」「がん医療の充実」「がんとの共生」「これらを支える基盤の整備」の 4 つを柱とする計画は、ほぼ原案どおりとなる予定で、診療支援部会で検討して頂く内容についても反映させており、来年度に冊子を配布する。

部会長より「がんと共生」の中の仕事の両立支援については、県で行うのか、それとも国で行うのかとの質問があり、国と県の労働局が連携して両立支援を行っていくとの回答があった。

また、部会員より「がん医療の充実」(9) 病理診断で、遠隔病理診断についてその後の進捗状況について質問があり、来年度の予算に計上しているとの回答があった。

最後に、県より大きく変わる点として、全国がん登録データが平成31年1月以降に提供され、がんの状況について分析できることがあげられるとの追加報告があった。

2) がん患者団体連絡協議会から

- ・各医療機関や各団体から、それぞれの分野での研修会等の報告を聞いて質が向上していると感じた。また、「がん情報しが」に掲載されている「高度ながん医療一覧」では、医療技術名ごとに掲載されており、患者にとってわかりにくい。部位別による一覧のほうがわかりやすく、アクセス数も増えるのではないかと意見が出された。
- ・「高度ながん医療一覧」について、患者は、自分に都合がいいように解釈する傾向があるため、医療者からは丁寧な説明をしていただきたいとの依頼があった。
- ・「平成29年度 がん患者力・家族力向上事業 公開講座」が平成30年3月4日(日)に南草津のiMEP ニプロホールで開催される旨の案内があった。「がんと診断された時からの緩和ケア」をテーマに、昨年、米原で開催し、次は南部でも開催してほしいとの意見があり今回開催することとなった。患者、医療者、家族の三者で緩和ケアについて考える機会として多くの方に参加していただきたいとの依頼があった。

部会長より、チラシに、お申込みは「FAX・メール・郵送で」とあるが、当日の参加はどうかとの質問があり、セキュリティの関係上、できれば事前申し込みをお願いしたいが、当日の参加も受け付けるとの回答があった。

最後に事務局より、「がん診療に関するトピックス」の内容を更新するため、後日照会させていただくのでご協力いただきたいとの依頼があった。照会結果を取りまとめ、次回の部会で確認後掲載したいとの説明があった。

以上

【配付資料】

- (資料1-1) がん診療に関するトピックス (新着情報順)
- (資料1-2) がん診療に関するトピックス (医療圏別、病院別)
- (資料1-3) 診療支援部会「各病院、がん診療に関するトピックス」の掲載箇所
- (資料2) 高度ながん医療について
- (資料3) 各団体の取組について (平成29年度結果、平成30年度予定)
- (資料4) 「がん情報しが」のアクセス状況
- (資料5) 滋賀県がん診療連携協議会アクションプランシート
- (資料6) 滋賀県がん診療連携協議会PDCAチェックリスト

(参考1) 前回議事概要 (平成29年度 第2回診療支援部会 10月17日開催分)

(席上配付) 「滋賀県がん対策推進計画 (第3期) (原案)」の概要

「平成29年度 がん患者力・家族力向上事業 公開講座」チラシ